

## はじめに

茨城大学人文社会科学部・人文社会科学研究科の『茨城大学人文社会科学部・人文社会科学研究科年報 2022（対象年度：2021）』が発行の運びとなりました。令和3（2021）年度も、新型コロナウイルスの感染拡大により、学部・大学院の運営に大きな影響を受けました。教育・研究におけるオンライン活用もある程度定着し、新たな教育環境において教職員が一丸となり大学教育あるいは学生サービスの向上に努めてきました。この厳しい時期の経験を、当たり前だった日常を見つめ直し、グローバル化など人間と社会のあり方を考え、よりよい社会の創造に向けて踏み出すきっかけにしたいと思います。この年報が、大学内外の皆様に、私たちのさまざまな取組みの状況を知っていただく一助となれば幸いです。

人文社会科学部は、平成29（2017）年度に発足し5年目を迎えています。現代社会・法律経済・人間文化の3学科で構成され、人文科学・社会科学を体系的に学びながら、専門分野を超えた幅広い視野を体得することを特色としています。7つのメジャーとサブメジャーの学びを通じて、深い専門性と幅広い視野を身につけます。また、内外の「地域」で、さまざまな人とかかわり学ぶ、アクティブ・ラーニングの授業では、実践力を養います。改組後の卒業生も2期目を社会に送り出し、学修の成果を感じているところです。

人文社会科学研究科は、文化科学専攻と社会科学専攻から構成され、後者では現職地方公務員・地方議員を対象とする、地域政策研究（社会人）コースを開設しています。また令和3（2021）年度の改組においては、「公認心理師」を養成する新しいコース教育を新設したほか、テクノロジーと人間社会にかかわる科目を必修化し、リカレント教育全般を拡充するなど、社会ニーズに沿った教育を展開しています。

これからも取組みや成果を自ら確認し、それらを自己改善につなげる作業が不可欠になります。本学部では『年報』を作成し、学部ホームページにも掲載しています。『年報』が対外的な情報公開ツールとしてはもちろん、学部・研究科内でも大いに活用されることを期待しています。

2022年9月1日

茨城大学人文社会科学部長・人文社会科学研究科長：原口弥生